

# 平成29年度一般会計決算のポイント

<総括> ※( )は対前年度比

◎ 歳入・歳出は約1兆8千3百億円で、平成10年度、11年度に次いで過去3番目に大きい規模

歳入総額 1兆8,377億円 (+294億円 +1.6%)

歳出総額 1兆8,295億円 (+297億円 +1.6%)

○ 歳入は、県税(+145億円)、地方消費税清算金(+138億円)などが増加

[H28]1兆8,083億円 [H27]1兆8,113億円 [H26]1兆7,586億円

○ 歳出は、民生費(+131億円)、土木費(+121億円)、諸支出金(+428億円)などが増加 [H28]1兆7,998億円 [H27]1兆8,018億円 [H26]1兆7,470億円

<歳入の特徴> ※( )は対前年度比

◎ 県税収入は7,845億円で6年連続の増加 (+145億円)

○ 納税義務者の増加や株式売却益が増加したことなどによる個人県民税の増収などにより、6年連続で増加

県税 7,845億円(+145億円、+1.9%)

[H28]7,700億円 [H27]7,534億円 [H26]6,871億円

○ 納税率は97.8%(+0.4ポイント)で、7年連続の上昇

○ 収入未済額は149億円(△35億円)で、7年連続で圧縮

◎ 自主財源の比率は3年連続で上昇し6割を維持

○ 自主財源の比率は、県税の増加などにより3年連続で上昇し、60.7%(+0.1ポイント) [H28]60.6% [H27]60.3% [H26]53.4%

◎ 県債発行額は増加 (+225億円)

ただし、県で発行をコントロールできる県債の残高は15年連続で減少

【県債発行額】

○ 臨時財政対策債(+77億円)の増加などにより、県債発行額は増加

県債 2,523億円(+225億円、+9.8%)

[H28]2,298億円 [H27]2,356億円 [H26]3,302億円

【29年度末県債残高】

○ 県で発行をコントロールできる県債(臨時財政対策債・減収補填債を除いたもの)の残高は、前年度に比べ減少(15年連続減)

残高全体 3兆8,239億円(+220億円)

うち県で発行をコントロールできる分 2兆139億円(△494億円)

[H28]2兆633億円 … [H14]2兆5,865億円(ピーク時)

<歳出の特徴> ※( )は対前年度比

◎ 民生費は、医療、介護など社会保障関連経費が増加 (＋131億円)

- 国民健康保険財政の安定化に向けた基金への積立金の増加  
[H28]24億円→[H29]113億円(+89億円)
- 給付対象者の増加等に伴い、後期高齢者医療対策事業及び介護保険給付事業に対する県負担金等が増加 [H28]1,209億円→[H29]1,273億円(+64億円)

◎ 土木費は、ラグビーワールドカップ2019™の会場整備や公共事業などが増加 (＋121億円)

- ラグビーワールドカップ2019™の開催に向けた、熊谷ラグビー場のスタンド改修費が増加 [H28]6億円→[H29]69億円(+63億円)
- 公共事業により地域の安心・発展の礎づくりを進めたことなどにより、道路橋りょう費、河川費が増加 [H28]711億円→[H29]752億円(+41億円)

◎ 警察費は、大宮・岩槻警察署庁舎の建設などにより増加 (＋68億円)

- 暮らしの安心、安全を確保するため、大宮警察署、岩槻警察署などの建設費が増加 [H28]27億円→[H29]67億円(+40億円)

◎ 教育費は、教職員給与費等の負担事務をさいたま市へ移譲した影響などにより減少 (△471億円)

- 教職員給与費の負担事務をさいたま市へ移譲した影響などにより小・中学校費の教職員費や退職手当が減少 [H28]3,095億円→[H29]2,616億円(△479億円)

◎ 諸支出金は、県税交付金の増などにより増加 (＋428億円)

- さいたま市への税源移譲の経過措置として県民税所得割指定都市交付金が増加 [H29]304億円(皆増)
- 県内市町村への地方消費税交付金の増加 [H28]1,054億円→[H29]1,123億円(+69億円)